

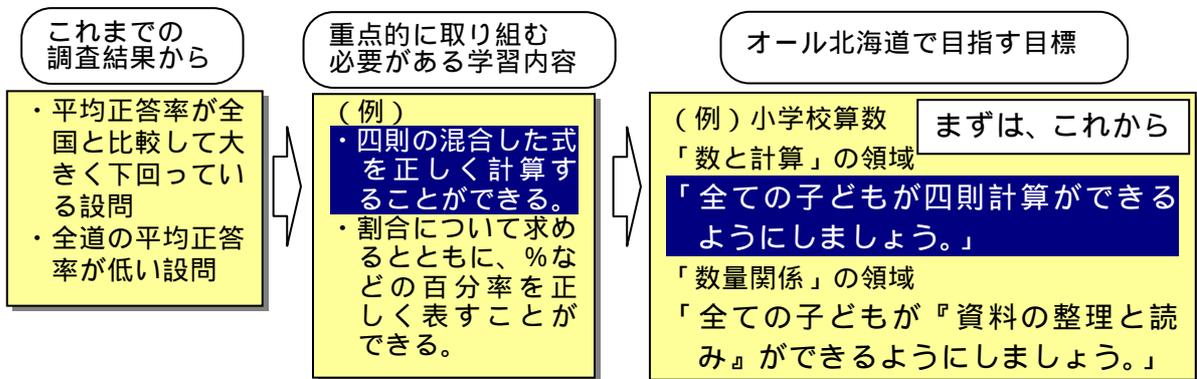
2 オール北海道で目指す目標

平成26年度までに全国学力・学習状況調査で 「全国平均以上」を目指そう！

全国学力・学習状況調査の教科に関する調査は、学習指導要領に示されている内容が、本道の子どもたちにどの程度身に付いているかを全国との比較において、客観的に把握できるものです。「全国平均以上」という目標は、全国どこの地域で学んだとしても学習指導要領の内容を身に付けることができるという、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る義務教育の趣旨に照らして設定したものです。

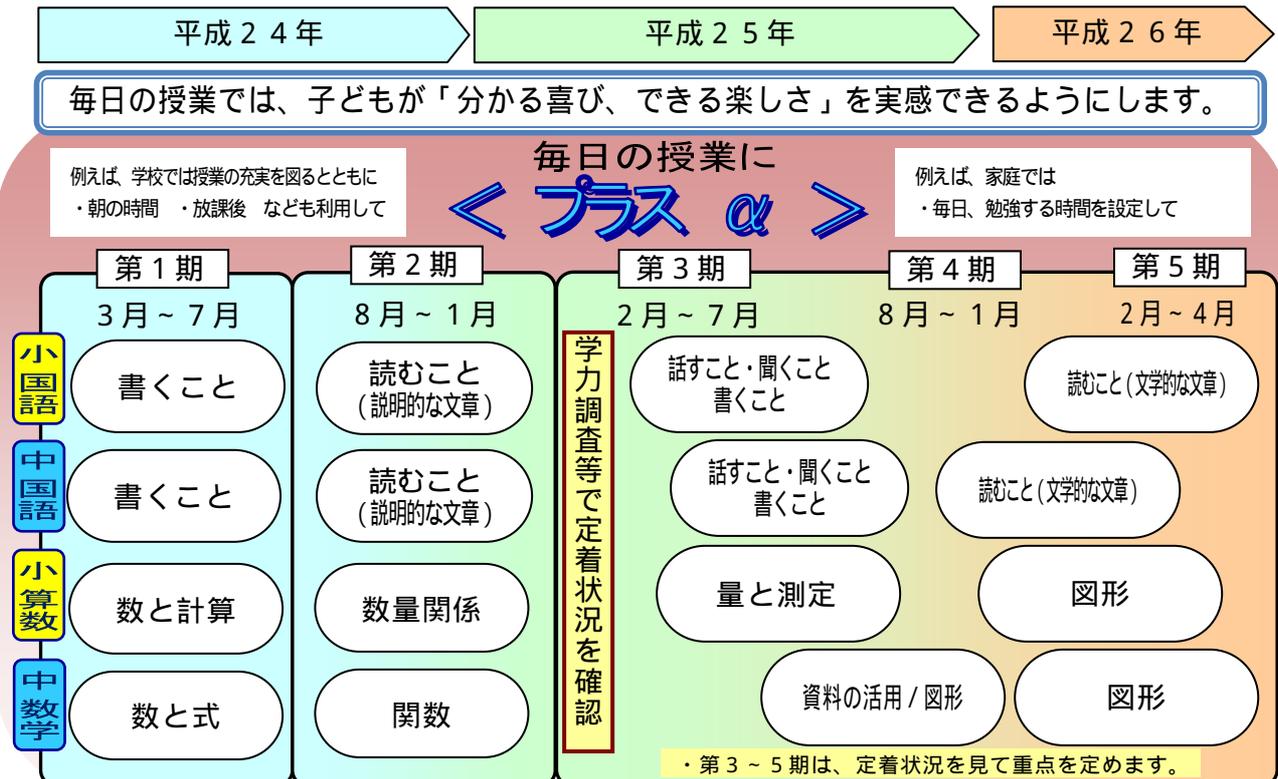
(1) 「オール北海道で目指す目標」の設定について

これまでの調査結果から、全国と比較して平均正答率の差が大きい設問や全道の平均正答率が低い設問などを分析することによって、重点的に取り組む必要がある学習内容を明らかにし、「まずは、これから」を合い言葉に全道で一丸となって取り組む「オール北海道で目指す目標」を設定しました。



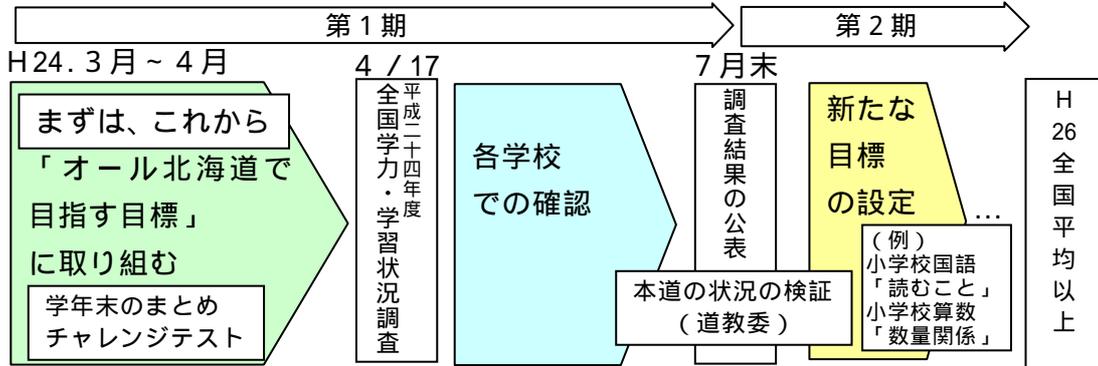
(2) 目標へのロードマップ

平成26年度の全国調査までに学力を「全国平均以上」にするために、「オール北海道で目指す目標」として重点的に取り組む領域を設定し、第1期から第5期までの期間を設けながら集中的、段階的に全道で取り組んでいくこととしました。第1期及び第2期は、これまでの調査結果を踏まえ、次のように設定しました。



目標に向けた道のり

「オール北海道で目指す目標」に向けて、次のような取組を進めていきます。



学校の取組例

- 授業や振り返りの学習などを通して各学年の学習内容の定着を図りましょう。

- 授業では前学年の復習や習得状況を確認するなど振り返って学習する活動を設定しましょう。
- 家庭学習で継続的に課題(宿題)を出すなど学習習慣の確立を促しましょう。
- 期間をあけて復習する機会を設定するなど繰り返し学習させましょう。

- 学力・学習状況調査の分析を通して定着の状況を明らかにしましょう。
- 長期休業中の学習サポート等で地域と一体となった取組を行いましょう。
- 引き続き一人一人の子どもの定着の状況をチャレンジテスト等で確認しましょう。

定着の確認

- これまでのチャレンジテストや学年末のチャレンジテストを活用して確認しましょう。

- 一時間ごと、単元ごとなどの定期的な定着テストや確認テストで身に付けた内容を確認しましょう。

- チャレンジテストを発行し、定着の状況が確認できるようにします。
- 学習指導の参考となる資料(コア・アビリティなど)を提供します。

【目標に向け、学校、家庭、地域が一体となって取り組みましょう】

各家庭で取り組む内容(例えば)

- 1 学校で学習している内容を確認しましょう。
- 2 宿題や予習・復習など、授業と関連させた家庭学習や「チャレンジテスト」「まなぼう」などを活用して、計算問題や漢字の読み書きに取り組ませましょう。
- 3 「早寝早起き朝ごはん」の取組などを通して、生活習慣を確立させましょう。
- 4 朝読・家読などを通して、読書活動を充実させましょう。



各地域で取り組む内容(例えば)

- 1 学校の取組に関心を持ち、地域で学習サポートの取組を進めるなど学校支援地域本部事業でのサポート体制をつくりましょう。
- 2 地域の大人から子どもまでチャレンジテストに取り組む「地域コンテスト」を企画したり、子どもたちが楽しく学習できる環境づくりに努めたりするなど、学力向上の機運を高めましょう。
- 3 「ノーテレビDAY」「ノーゲームWEEK」を設けるなど、生活リズムや読書習慣を確立するきっかけづくりを行いましょう。



【道教委として、学校や家庭、地域の取組への支援を行います】

学校の取組への支援

- 小・中学校の9か年を見通した指導計画の作成
- 退職教員などの地域の人材や学生ボランティアを活用した学習サポートの拡充
- 各教科等の学習の基礎ともなる国語の指導に関わる研修
- 市町村における算数のモデルリーダーを育成する研修
- 教科指導力に優れた教員(巡回指導教員)による若手教員等への支援
- 道独自の基礎問題チャレンジテストの一層の活用促進
- 教員加配を活用しての習熟度別学習の拡充



家庭や地域の取組への支援

- 「生活リズムチェックシート」の開発と推進校での活用、「通学合宿」の成果の普及
- 「朝読・家読」など読書習慣の定着を目指す「子どもの読書活動推進プログラム」の推進
- 「ほっとネット」などを通して、小・中学校9か年の学習内容の周知や学習習慣づくりの啓発

(3) オール北海道で目指す目標

北海道の課題を解決するために

～「オール北海道で目指す目標」～

まずは、これから

第1期(平成24年3月～平成24年7月)

これまでの学力調査等で明確になった本道の課題の解決に向けて、国語では小・中学校とも「書くこと」、小学校算数では「数と計算」、中学校数学では「数と式」の領域について「まずは、これから」、全道で一丸となって取り組む内容を次のように設定しました。

小学校国語

全ての子どもが、
決められた字数で書く
ことができるようにしましょう。

P18・19

第1・2学年
絵日記や発見カード、手紙

第3・4学年
報告や学級新聞、依頼状、案内状、礼状

第5・6学年
俳句、随筆、意見、推薦、宣伝

中学校国語

全ての子どもが、
**理由や根拠を
明確にして書く**
ことができるようにしましょう。

P26・27

第1学年
鑑賞、説明、記録、案内、報告

第2学年
詩歌や物語、意見、手紙

第3学年
批評、新聞やパンフレット

小学校算数

全ての子どもが、
四則計算
(たし算、ひき算、かけ算、わり算)
ができるようにしましょう。

P34・35

第1学年
たし算、ひき算

第2学年
かけ算九九

第3学年
わり算

第4学年
小数、分数の計算、四則混合計算

第5学年
小数、分数の乗・除

第6学年
小数、分数の四則計算

中学校数学

全ての子どもが、
方程式を解く
ことができるようにしましょう。

P42・43

第1学年
正の数、負の数、一元一次方程式

第2学年
連立二元一次方程式

第3学年
平方根、因数分解、二次方程式